

早期の対策で健康寿命を延ばす！フレイル予防

コロナ禍で外出の機会の減少等により、高齢者のコロナフレイルの進行が懸念されています。フレイル予防のためには栄養・運動・社会参加の3つの改善が重要であり、豊島区は来年度以降も様々な支援を実施していきます。

だれでも食堂の実施

拡充

高田介護予防センターにて「だれでも食堂」を開催します。高齢者に限らずあらゆる世代の方が利用可能で、居場所づくりや世代間交流、栄養対策や外出の機会の促進を目的に、令和4年4月から、毎月1回実施します。



介護予防センターでの誰でも食堂の実施事業
670千円

短期集中通所型サービス

拡充

週1回、約3か月、リハビリの専門職による運動プログラムを提供し、高齢者の身体機能の回復・向上を図ります。令和4年度は区施設のほか複数の会場で、**リハビリ職の関与を拡大して**実施予定です。



短期集中通所型サービス（通所型サービスC）実施内容の拡充
3,365千円

いきいき100歳の実現

拡充

90周年
記念事業

例年実施する介護予防大作戦（介護予防の普及啓発イベント）前後を、「介護予防・日常生活支援総合事業ウィーク」とし、介護予防・認知症の講座や講演会を実施します。産官学民一体となり、フレイル予防日本一のまちづくりを展開します。

フレイル予防でいきいき100歳
704千円



高齢者福祉課地域包括支援センター関連事業内容拡充事業

いざという時の安心のために

予算点的な拡充ができない中で、下記の2事業を高齢者への安心のために事業内容を拡充して、いざという時の対応ができるよう事業整備していきます。

終活サポート事業

令和4年4月より終活相談窓口「終活あんしんセンター」で「終活情報登録事業」を開始します。

あらかじめ緊急連絡先や終活に関する生前契約に関する情報等を登録しておき、病気や事故で本人の意思表示ができなくなったり、亡くなった時に関係機関等からの照会に対して情報提供を行います。



緊急ショートステイ事業

これまでの区内特養での緊急ショートステイ事業(1床)に加え、区内特養の空床活用し受入れ体制を拡充します。

区内特養と協議をすすめ令和4年4月より順次受入可能施設を拡大していきます。

